

DENIKA

2014年度第2四半期 決算説明会

2014年11月10日

1. 2014年度 第2四半期決算概要	
① 前年比	P. 1
② 前年比 (増減要因)	P. 2
③ 前年比 (セグメント別)	P. 3
④ 期初予想比	P. 4
⑤ 期初予想比 (セグメント別)	P. 5
2. 2014年度 業績予想	
① 前提条件等	P. 6
② 前年比 (期初予想比・前年比)	P. 7
③ 四半期推移	P. 8
④ 期初予想比 (セグメント別)	P. 9
⑤ 前年比 (セグメント別)	P. 10
3. 経営計画「DENKA100」	
数値目標と新成長戦略	P. 11
「生産体制の最適化」	P. 12
「成長ドライバーへの資源集中」と「次世代製品開発」	P. 13
4. 株主還元方針及び成長に向けた投資財源	
当社の株主還元方針及び成長に向けた投資財源	P. 14
株主還元・投資関連数値推移	P. 15

1. 2014年度第2四半期決算概要 ①前年比

単位：億円

	実績	前年	増減	主な増減要因
売上高	1,869	1,814	+ 55	エラストマー・機能樹脂 ▲ 7 インフラ・無機材料 ▲ 7 電子・先端プロダクツ + 12 生活・環境プロダクツ ▲ 9 その他・消去 + 1
(海外売上高の割合)	(36.6%)	(33.6%)	(+ 3.0%)	
営業利益	94	105	▲ 11	← ▲ 11
(営業利益率)	(5.0%)	(5.8%)	(▲ 0.8%)	持分法投資益減他 ▲ 1
経常利益	94	107	▲ 12	← ▲ 12
				資産売却益 他 + 12
純利益	75	75	+ 1	+ 1

売上高 1,869 (+ 55)

- ① 数量差: 電子・先端製品の販売増 (+ 22)
- ② 価格差: 原燃料価格高騰の価格への転嫁 (+ 33)

営業利益 94 (▲ 11)

- ① 数量要因: 電子・先端製品の販売増他 (+ 21)
- ② 円安メリット: 価格 + 18 > コスタップ ▲ 13 (+ 5)
- ③ 価格転嫁遅れ: 価格 + 15 < コスタップ ▲ 17 (▲ 2)
- ④ コスト上昇: エネルギー▲8・定修関連負担増▲10 (▲ 24)
出荷増に伴う費用増▲7 他
- ⑤ 先行投資負担: 海外展開加速・研究開発他 (▲ 11)

1. 2014年度第2四半期決算概要 ③前年比(セグメント別)

単位:億円

売上高	実績	前年	増減
エラストマー・機能樹脂	841	797	44
インフラ・無機材料	233	237	▲ 4
電子・先端フロンタックツ	235	214	20
生活・環境フロンタックツ	363	364	▲ 1
その他	198	202	▲ 4
合計	1,869	1,814	55

販売価格差	数量差
32	12
2	▲ 6
▲ 3	23
2	▲ 3
-	▲ 4
33	22

営業利益	実績	前年	増減
エラストマー・機能樹脂	22	29	▲ 7
インフラ・無機材料	14	22	▲ 7
電子・先端フロンタックツ	25	13	12
生活・環境フロンタックツ	28	37	▲ 9
その他 / 消去差	5	4	1
合計	94	105	▲ 11

販売価格差	数量差	コスト差等
32	2	▲ 41
2	▲ 2	▲ 7
▲ 3	23	▲ 9
2	▲ 4	▲ 8
-	1	-
33	21	▲ 65

1. 2014年度第2四半期決算概要 ④期初予想比

単位：億円

	実績	予想	増減	主な増減要因
売上高	1,869	1,920	▲ 51	エラストマー・機能樹脂 + 2 インフラ・無機材料 ▲ 6 電子・先端プロダクツ ▲ 0 生活・環境プロダクツ ▲ 8 その他・消去 + 1
(海外売上高の割合)	(36.6%)			
営業利益	94	105	▲ 11	← ▲ 11
(営業利益率)	(5.0%)	(5.4%)	(▲ 0.4%)	為替差益 他 + 10
経常利益	94	95	▲ 1	← ▲ 1
				資産売却益 他 + 6
純利益	75	70	+ 5	+ 5

1. 2014年度第2四半期決算概要 ⑤期初予想比(セグメント別)

単位:億円

売上高	実績	予想	増減
エラストマー・機能樹脂	841	840	▲ 1
インフラ・無機材料	233	250	▲ 17
電子・先端フロンタックツ	235	250	▲ 15
生活・環境フロンタックツ	363	380	▲ 17
その他	198	200	▲ 2
合計	1,869	1,920	▲ 51

販売価格差	数量差
▲ 4	▲ 4
▲ 2	▲ 15
▲ 1	▲ 16
▲ 5	▲ 12
-	▲ 2
▲ 11	▲ 41

営業利益	実績	予想	増減
エラストマー・機能樹脂	22	20	▲ 2
インフラ・無機材料	14	20	▲ 6
電子・先端フロンタックツ	25	25	-
生活・環境フロンタックツ	28	35	▲ 8
その他 / 消去差	5	5	-
合計	94	105	▲ 11

販売価格差	数量差	コスト差等
▲ 4	-	6
▲ 2	▲ 6	2
▲ 1	▲ 1	-
▲ 5	▲ 7	4
-	-	1
▲ 11	▲ 13	13

2. 2014年度通期業績予想 ①前提条件等

単位：億円

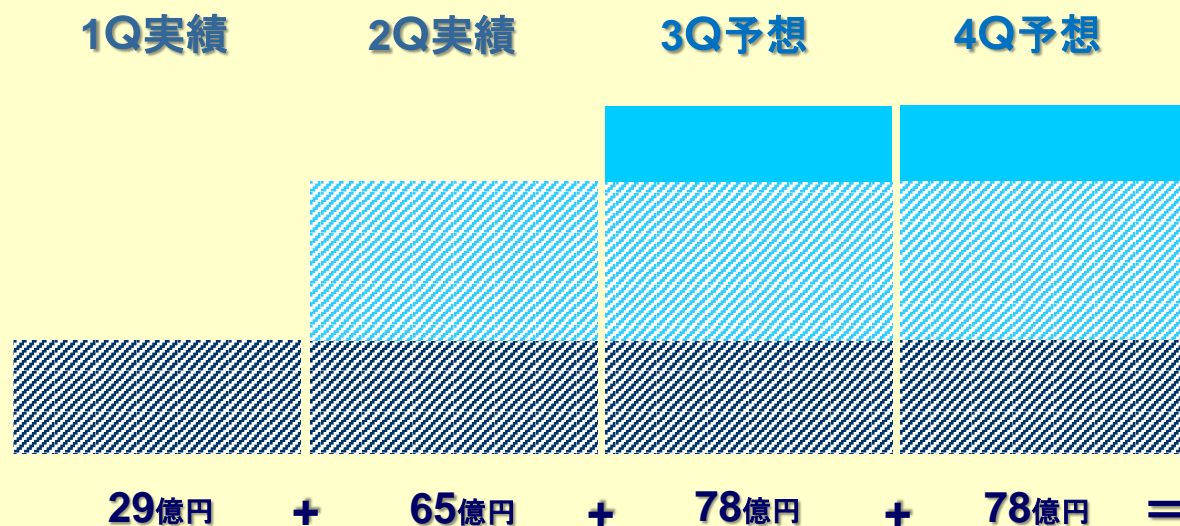
前提条件	2014年度 4～9月	2013年度 4～9月		2014年度 10～3月 予想	2014年度 通期 予想	2013年度 通期 実績
為替レート [円/\$]	103.0	98.9		105.0	104.0	100.2
国産ナフサ [円/Kg]	70,350	64,950		63,600	67,000	67,300
参考数値	2014年度 4～9月	2013年度 4～9月	増 減	2014年度 10～3月 予想	2014年度 通期 予想	2013年度 通期 実績
設備投資額	80	103	▲ 23	200	280	257
減価償却費	114	109	5	116	230	223
研究開発費	56	55	2	58	114	108
有利子負債残高	1,301	1,275	26	1,250	1,250	1,207

2. 2014年度 業績予想 ②期初予想比・前年比

単位：億円

	2014年度 予 想			2014年度 期初予想	2013年度 実 績
	4～9月実績	10～3月予想			
売上高	4,000	1,869	2,131	4,000	3,768
営業利益	250	94	156	250	212
(営業利益率)	(6. ³ %)	(5. ⁰ %)	(7. ³ %)	(6. ³ %)	(5. ⁶ %)
経常利益	235	94	141	235	206
純利益	180	75	105	180	136

四半期毎営業利益推移



**2014年度
通期予想
250億円**

1Q → 2Q

一時的なマイナス要因解消 + インフルエンザ関連製品出荷開始

2Q → 3Q・4Q

ワクチン出荷増(備蓄用) + 試薬全般好調 + インフラ関連回復 - クロロプレン定修

2. 2014年度 業績予想 ④期初予想比(セグメント別)

単位:億円

売 上 高	2014年度 今回予想	2013年度 当初予想	増 減	販売価格差		数量差		
				販売価格差	数量差	販売価格差	数量差	
エラストマー・機能樹脂	1,740	1,740	-	▲ 26		26		
インフラ・無機材料	500	520	▲ 20	▲ 4	▲ 16			
電子・先端フロンタックツ	500	500	-		▲ 5			
生活・環境フロンタックツ	840	840	-	▲ 1				
そ の 他	420	400	20	-			20	
合 計	4,000	4,000	-	▲ 26			26	
営 業 利 益	2014年度 今回予想	2013年度 当初予想	増 減	販売価格差		数量差		コスト差等
エラストマー・機能樹脂	45	40	5	▲ 26		2	29	
インフラ・無機材料	35	45	▲ 10	▲ 4	▲ 5		▲ 1	
電子・先端フロンタックツ	55	50	5		▲ 3		3	
生活・環境フロンタックツ	105	105	-	▲ 1	▲ 1		2	
そ の 他 / 消 去 差	10	10	-	-	-		-	
合 計	250	250	-	▲ 26	▲ 7		33	

2. 2014年度 業績予想 ⑤前年比(セグメント別)

単位:億円

売 上 高	2014年度 今回予想	2013年度 実績	増 減	販 売		数量差	コスト差等
				価 格 差	数 量 差		
エラストマー・機能樹脂	1,740	1,665	75	59	16		
インフラ・無機材料	500	496	4	6	▲ 2		
電子・先端フロンタックツ	500	421	79	▲ 13	92		
生活・環境フロンタックツ	840	780	60	17	44		
そ の 他	420	406	14	-	14		
合 計	4,000	3,768	232	69	163		
営 業 利 益	2014年度 今回予想	2013年度 実績	増 減	販 売 価 格 差	数 量 差	コスト差等	
エラストマー・機能樹脂	45	40	5	59	10	▲	64
インフラ・無機材料	35	40	▲ 5	6	2	▲	12
電子・先端フロンタックツ	55	27	28	▲ 13	51	▲	10
生活・環境フロンタックツ	105	95	10	17	13	▲	19
そ の 他 / 消 去 差	10	11	▲ 1	-	1	▲	2
合 計	250	212	38	69	76	▲	107

数値目標（2017年度）

連結営業利益	600 億円 以上
営業利益率	10% 以上
海外売上高比率	50% 以上

新成長戦略

- ① 生産体制の最適化
- ② 徹底したコストの総点検
- ③ 新たな成長ドライバーへの経営資源集中と
次世代製品開発への取り組み

「生産体制の最適化」

海外市場向け製品：極力現地生産

国内工場：内需型製品・高機能品へ特化

具体的施策

- 高信頼性放熱プレート ➡ 中国 新工場建設
投資額：約10億円 ・ 2015年末量産開始予定
- 電子部品搬送用部材 ➡ ベトナム 新工場建設
投資額：約 8億円 ・ 2015年9月末完成予定
- 酢酸ビニルモノマー ➡ 事業撤退
2014年上期製造・販売終了

「成長分野への資源集中」「次世代製品開発」

成長4分野 「環境」「エネルギー」「インフラ」「健康」

具体的施策

特殊混和材事業の海外展開

→ 地域事業統括会社設立

中国市場：電化創新(上海)商貿有限公司

2014年 1月設立 / 同4月営業開始

東南アジア市場：Denka Infrastructure Technologies Pte. Ltd.

2013年11月設立 / 2014年4月営業開始

検査試薬およびワクチン事業の強化・拡大

→ 検査試薬一貫生産体制の構築・供給体制整備・安定的品質確保

投資額:約 60億円 ・ 2016年3月竣工予定

➡ 今後は更なる成長に向けて M&A など戦略投資に注力

4. 株主還元方針及び成長に向けた投資財源

「当社の株主還元方針及び成長に向けた投資財源」

1. 株主還元方針

総還元性向 **50%** を基準

※ 総還元性向 = (配当 + 自己株式取得) ÷ 連結当期純利益

2. 還元方法

①配 当 : 配当性向 **最低30%** + 安定配当

②自己株式取得 : 株価水準・市場環境等に応じ **機動的に実施**

3. 成長に向けたM&Aなどの戦略投資財源

株主還元後内部留保 + キャッシュフロー

→ **500億円規模** (2014年～2017年 4年間)

4. 期 間

経営計画「DENKA100」(目標年度2017年)に向けた4年間

良好な財務バランスを維持しつつ株主還元ならびに戦略投資を最大化

→ 早期に **ROE10%以上** を目指す

4. 株主還元方針及び成長に向けた投資財源

株主還元・投資関連数値の推移

	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 予想
当期純利益 (億円)	144	113	113	136	180
1株当り配当 (円/株)	10	10	10	10	※ 12
配当額 (億円)	49	49	47	47	56
配当性向	34 %	43 %	42 %	34 %	31 %
自己株取得 (億円)		27	19	30	29
総還元額 (億円)	49	76	66	77	86
総還元性向	34 %	67 %	60 %	56 %	47 %
当期純利益 - 総還元額 (億円)	95	37	47	59	94
減価償却額 (億円)	223	232	216	223	230
設備投資・投融資額 (億円)	213	229	270	257	280
ROE	8. ⁹ %	6. ⁷ %	6. ⁴ %	7. ⁴ %	9 %

総還元性向 = (配当 + 自己株式取得) ÷ 連結当期純利益

※ 普通配当10円・記念配当2円

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。